

フィン付き放熱管

エロフィン管

Aerofine tube
エロフィンチューブ

後メッキ品(ドブ漬け前)
10Kフランジ仕様



先メッキ品
STK・自社フランジ仕様



● エロフィンチューブとは…

パイプの外側に帯形状のフィン(ひれ)をらせん状に巻き付けたものです。らせん状にフィンを巻き付ける事によって、伝熱面積を広げることができます。エロフィンの幅、ピッチによっては伝熱面積を10倍にも広げることができます。

パイプ内に熱源(冷水・温水、蒸気)を流すとフィンにも熱が伝わり、効率的に温度を伝えることができます。

パイプにお湯を流せば暖房に、冷たい水を流せば周囲の温度を下げる事ができます。

エロフィンチューブは、温度ムラになりにくく必要温度の高い植物で使用される事が多いです。

またスイッチを切った後も温度が変わりにくいので霧の発生が少ないと言われています。



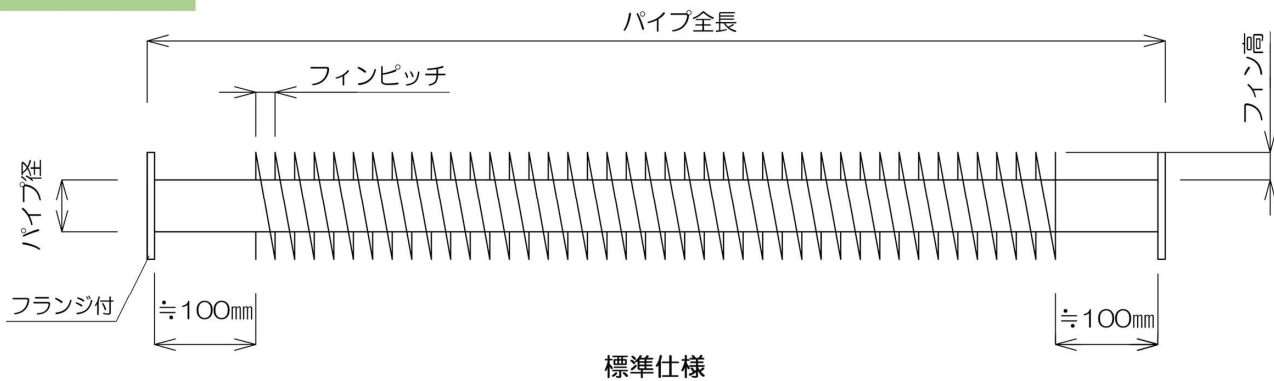
昭和産業株式会社

〒783-0028

高知県南国市陣山199番地

TEL 088-863-2646 FAX 088-863-3626

エロフィン仕様図



パイプ径(外径)	65A (Φ76.3)	50A (Φ60.5)	40A (Φ48.6)
フィン高	25mm・32mm(後メッキ)、25mm・30mm(先メッキ)		
ピッチ	9mm		
種類	SGP管、STK管(厚み2.3mm)、STK管76.3mm(厚み2.8mm使用)		
パイプ全長	SGP管・STK管76.3mm=4m以下、STK管(60.5mm・48.6mm)5.5m以下		
フランジ	5Kフランジ付(両側)		

※輸送でフィンが折れてしまったり曲がってしまったりする事がある為、高知県外に納品の場合は後メッキをお願いしております。
※上記以外は応相談

先メッキとは・・・メッキされたパイプとフィンを使用してエロフィンチューブを作ります。溶接部分はローバル補修をして完成となります。

後メッキとは・・・メッキされていないパイプとフィンを使用してエロフィンチューブを作ります。その後メッキ(ドブ漬け)に出して完成となります。

伝熱面積の比較

SGP50A(Φ60.5mm)・・・伝熱面積 約0.19㎡/m

エロフィンチューブ50A(Φ60.5mm×フィン高30mm×ピッチ10mm)・・・伝熱面積 約1.9㎡/m

◎約10倍伝熱面積が大きくなります。

エロフィンチューブ放熱量

- ・65A×フィン高25mm×ピッチ9mm・・・573Kcal/hm
- ・50A×フィン高25mm×ピッチ9mm・・・480Kcal/hm
- ・40A×フィン高25mm×ピッチ9mm・・・410Kcal/hm

- ・65A×フィン高30mm×ピッチ9mm・・・704Kcal/hm
- ・50A×フィン高30mm×ピッチ9mm・・・595Kcal/hm
- ・40A×フィン高30mm×ピッチ9mm・・・513Kcal/hm

- ・65A×フィン高32mm×ピッチ9mm・・・759Kcal/hm
- ・50A×フィン高32mm×ピッチ9mm・・・644Kcal/hm
- ・40A×フィン高32mm×ピッチ9mm・・・558Kcal/hm

【計算条件=平均温水温度 75℃ 入口空気温度=15℃ 管内温水流速=0.305m/s】

※温水温度・空気温度・温水流速により、放熱量は変わります。



《使用例》



昭和産業株式会社

〒783-0028

高知県南国市陣山199番地

TEL 088-863-2646 FAX 088-863-3626